

授業科目名	内分泌・代謝疾患患者の看護 感染症・結核患者の看護	担当者	牛尾 直人
単位	—		
時間数	7時間	学年	1学年
授業形態	講義	開講時期	後期
授業の到達目標	疾患、病態を把握し、日常生活の援助と診療時の補助技術について学ぶ。経過別看護を理解し、援助技術を学ぶ。		
授業の概要	<p>内分泌・代謝疾患患者は経過が長く特有な症状がみられる。患者の心と身体の観察や治療継続の支援、生活習慣の改善が必要となる。疾患や症状を有する患者に対して適切な治療やケアについて学ぶ。</p> <p>看護を取り巻く感染症の問題は非常に多い。患者や医療者を守る十分な感染対策、症状や体調の把握、適切な看護の提供、健康の回復の支援方法について学ぶ。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 共通する看護 <ul style="list-style-type: none"> 内分泌・代謝：患者の身体的・心理的特徴と看護、経過別看護 感染症：スタンダードプリコーション、感染経路別予防策と隔離方法、洗浄・消毒・滅菌 2. 症状に対する看護 3. 内分泌・代謝疾患患者の看護 4. 手術を受ける患者の看護 <ul style="list-style-type: none"> 内分泌・代謝：術前後の看護、下垂体・甲状腺・副腎摘出術の看護 5. 検査・治療を受ける患者の看護 <ul style="list-style-type: none"> 感染症：検体採取、検体の輸送と保存方法、後期役投与中の看護 6. 感染症患者の看護 		
テキスト	新看護学10 成人看護[2] 新看護学11 成人看護[3]		医学書院
評価の方法・基準	終講試験 100点 血液・造血器・アレルギー・膠原病看護のテストとの平均点にて評価□		